

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 健康増進法に基づく健診事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details on policy names like '健康づくりの推進' and budget items like '健康づくり'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about bone density checkups and liver health.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (26-30) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '骨粗しょう症検診日数' and '受診の対象となる市民'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員, 委託料) for 27 and 28 fiscal years.

Table comparing 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費 予算 (千円) with categories like 12 役務費 and 13 委託料.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	健康増進法に基づく健診事業	事務事業No.	20102000335	所属課	健康推進課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 【骨粗しょう症検診】老人保健法に基づき実施していたがH20年4月以降は健康増進法に基づく実施となる。
 【生活習慣病予防健診事業】H20年度からは高齢者医療確保法により医療保険者によるメタボリックシンドロームに着目した特定健診を実施。
 【B型・C型肝炎検査事業】厚生労働省ではH14年から「C型肝炎等緊急総合対策」として老人保健事業等における肝炎ウイルス検診など肝炎対策に取り組んでいる。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 骨粗しょう症検診を受けることで骨量が少なくなっていることが分かり、食生活に気をつけるきっかけになった。また、対象年齢外の方からも受診したいとの要望もある。B型・C型肝炎検査についても、肝炎が発見され早期治療に結びついたなどの意見が市民から寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	疾病の早期発見のため、誰もが受診できる体制をつくり整備に努めている。これは、総合計画で掲げる「健康づくりの推進」に結びつく事業である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	疾病を早期に発見することで、医療費の削減を図る。健康増進法に基づく事業であり、行政が関わる必要がある。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	受診者を増やす余地はある。受診者を増やす方法としては、PR活動(健康推進員の活用・HP・広報・健康カレンダー)を行い、受診しやすい環境づくりを行う。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	疾病の発見が遅れることで医療費が高額となり、市民の医療費負担を増やすことにつながる。その結果、保険料引き上げに繋がることが予測される。疾病の発見が遅れることは、市民に生活の質を低下させることとなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) →	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は、委託料と郵送料。県内に他の委託できる健診機関がなく、健診の経年的管理面においても茨城県総合健診協会が妥当である。国保年金課と連携を図り、最低限度の人件費で実施し、郵送料も市内特別割引を適用しており、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	健康カレンダー・広報・ホームページ等で周知。骨粗しょう症検診においては申し込みの有無に関わらず該当者に個別通知。受診者の利便性を考慮して、どの地区でも受診可能として、機会を確保し公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	若年者健診について、受診者数の向上のため30歳・35~39歳の国保加入者にも健診の案内を郵送した。30歳代のうちから、生活習慣予防を目的としている。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>	成果	向上		○		維持			×	低下			×
成果	向上			○										
	維持				×									
	低下			×										
若年層からの健康意識を高めるため、新30歳にも全員若年者健診の案内をしており、受診者数の増加につなげる。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>